

令和4年度全国学力・学習状況調査の結果について

丹波市立吉見小学校

1 全国学力・学習状況調査の概要

① 調査の目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ります。
- 調査全体の取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立します。
- 学校における児童への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てます。

② 調査の内容

- ・教科に関する調査（国語・算数・理科）
- ・児童質問紙：学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

③ 調査日 令和4年4月19日（火）

④ 対象児童 小学校6年生

2 吉見小学校の学力の状況

○正答率が全国平均と同じか上回っている。▲正答率が全国平均を下回っている。

国語（顕著な内容を記載）

- 全国平均の正答率を上回る結果でした。
- 児童の無回答率が少なく、粘り強く課題に取り組む力が育ってきています。
- 漢字を文の中で正しく使うことがよくできていました。
- 文章量が短く内容を把握しやすい問題もよくできていました。
- ▲文章を読むにあたり、語彙力が足りず、問題文の理解ができていない解答がありました。
- ▲文章の中から、目的を意識して中心となる語や文を見つけ、要約する力に課題があります。
- ▲問題文と設問を何度も読み返して考える等、テストへの取り組み方への課題も見られました。



【指導改善の方向】

- ・読書を推奨し、初めての文章を読むことに慣れるようにします。
- ・長文を読む習慣をつけ、文章全体から読み取れるようにします。
- ・語彙力を高めるため、授業の中で音読の時間を確保します。
- ・学習した漢字を使って文章を書くことを意識づけます。
- ・漢字や言語に関する学習をリピートタイム等で繰り返し練習することで、様々な場面で活用できる力を身につけるようにします。



算数 (顕著な内容を記載)

- 全国平均の正答率を上回る結果でした。
- 計算問題ではミスが少なく、基礎的な問題を確実に解く力が身につけてきています。
- 長い文章の問題から、必要な情報を正しくとらえて立式し、正しく計算することができていました。
- 授業での経験があったプログラミングの作図の問題が理解できていました。
- ▲立式して答えを出せていますが、自分の「考え方」を説明する力に課題が見られました。
- ▲概念や割合などの知識・理解に課題があります。



【指導改善の方向】

- ・計算問題にできる限り多く取り組ませ、基礎学力の定着を図ります。
- ・問題文を読んでわかることを図・絵などを使って整理したり、立式の根拠を説明したりする力が身につくよう、低学年のうちから、授業の中で実践していきます。
- ・情報量が多い文章問題を授業の中で取り扱い、問題に出てくる言葉や数量を丁寧におさえながら問題に取り組む経験を積んでいきます。
- ・授業外でも学力の養成を目指し、学年に応じて自主学習ノートで予習・復習を推奨します。

理科 (顕著な内容を記載)

- 全国平均の正答率を下回る結果でした。
- 基礎・基本の力には、定着が見られます。
- 「生命」「地球」を柱とする領域については、ほとんどの児童が理解できていました。
- ▲問題を読んで、何を問われている問題なのかが、理解できていませんでした。
- ▲論理的な思考をする問題に課題が見られました。
- ▲「エネルギー」「粒子」を柱とする領域については、理解に課題があります。



【指導改善の方向】

- ・理科用語を大切にして指導を続けていきます。
- ・何度も課題を意識させながら、実験や結果などに取り組むようにしていきます。
- ・問題→予想→実験→結果→考察という論理的な流れを大事に指導していきます。
- ・問題の考察をする場面では、個々で考える時間をできるだけ確保し、自分の考えを持つようにします。

3 児童質問紙から見える主な課題

- ・ 普段の1日当たり、SNSや動画などのメディアを多く活用する児童の割合が多い傾向にあります。
- ・ ICT機器の活用は進んでいる一方で、タブレット、スマホなどの機器の使い方や時間について家での約束を守っている児童の割合が少ない傾向にあります。
- ・ 長所を自覚している、夢や希望を持っていると回答した児童の割合が少なく、自己肯定感の低さがうかがえます。
- ・ 自分でやると決めたことを最後までやり遂げようとしている児童の割合が少ない傾向にあります。
- ・ 読書が好きで、新聞を読んだり読書を習慣にしたりしている児童の割合が少ない傾向にあります。

※いずれも全国平均値と比較した場合の課題です。



各家庭へのお願い

- 1 早寝を心がけ、規則正しい生活習慣を確立させましょう。
- 2 図書館等を利用し、本を読む習慣をつけさせましょう。
- 3 がんばりを認め、笑顔でほめましょう。
- 4 子どもと学校であったことや、勉強のことを話しましょう。
- 5 メディアとの付き合い方を話し合い、ルールを決めて使用させましょう。

